

# 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市在宅医療・介護連携推進会議 令和 7 年度 第 2 回連携体制等に関する部会		
事務局 (担当課)		在宅医療・介護連携支援センター 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 5 0 (直通) 医療政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 3 0 (直通)		
開催日時		令和 7 年 1 2 月 5 日 (金) 1 9 時 3 0 分～2 0 時 0 0 分		
開催場所		W e b 開催 及び 相模原市役所本庁舎 2 階 第 1 特別会議室		
出席者	委 員	1 5 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	1 2 人 (在宅医療・介護連携支援センター所長、外 1 1 人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 開 会 2 議 題 (1) 「入退院支援の手引き」の作成に向けた検討の進め方について 3 報告事項 (1) 在宅医療・介護連携講演会について (2) 在宅医療・介護連携事例等発表会について 4 そ の 他 5 閉 会		

## 議 事 の 要 旨

### 1 開 会

### 2 議 題

#### (1) 「入退院支援の手引き」の作成に向けた検討の進め方について

事務局より資料に基づき、説明した。

(水上委員) ワーキンググループの構成員(案)として名前が挙がったが、訪問診療側の医師として参加可能なので、ご相談いただければと思う。

(廣瀬委員) ワーキンググループの構成員(案)について、問題ないと思う。

(澤野委員) 相模原市は特徴として施設系のサービスが多く、施設系のサービスからどこか、代表がワーキンググループに参加できればと思う。

(事務局) 澤野委員にワーキンググループに参加していただくことは可能か。

(澤野委員) 可能である。介護老人保健施設には医師がおり、色々とやりとりができるが、退院して戻ってくるときに、色々な細かい情報まで必要かと思う。

(梅澤部会長) ワーキンググループの構成員に選出された皆様におかれては、これから1から作っていくことになるので、ご協力をお願いしたい。

### 3 報告事項

#### (1) 在宅医療・介護連携講演会について

事務局より資料に基づき、説明した。

※質疑、意見なし

#### (2) 在宅医療・介護連携事例等発表会について

事務局より資料に基づき、説明した。

(水上委員) 参加者について、例年200人前後申込があるが、今回行政の参加が少ないとはいえ、かなり人数が減った印象である。テーマとしては悪くないと思っており、医師会でも周知しているが、土曜日の昼過ぎまで診療を行っている医療機関も多く、昨年は医師が8人程度の参加で、今年はその半分くらいかと思う。昨年と比較してどの職種が減ったかなどはわかるか。今回は参加者がかなり少ないという印象である。分析はいかがか。

(事務局) 参加職種については、割合としては昨年度と大きな差はない。参加者が減ったことについては、例年10月末頃に開催していたところ、11月の開催になったことで別のイベント等と重なってしまった可能性も考えられる。また、講演会の次週の開催となったことも影響しているのではないかと考えている。

(水上委員) 例年、10月の4週目の土曜日にやっていることが多かったと思う。参加者数が多く、良い事例が色々な職種の立場から聞ける良い会だと思うが、今回は参加者数が少なかったので、出来れば関わっている方々に少しでも知ってもらいたいと思う。最後の訪問看護からの発表については自身も関わっているケースだが、こういった内容について録画や動画配信についてはないか。

(事務局) 事例を扱うため、患者等のプライバシーに配慮する必要があるなどの課題があり、現時点では動画の配信については行う予定はない。

(水上委員) 市医師会や県医師会では積極的に動画を公開している。我々発表者も個人情報について細かく注意しており、市の立場もわかるが、市が公開することで市民の目にも触れる。市や市内事業者が活動していることを広報することも大事だと思うので、守るべきところは守り、ルールを厳格にして、公開できるような形にさせていただけると良いと感じる。

(梅澤部会長) オンデマンド配信をするにしても、一般公開ではなく、決まった団体のみ視聴できるようにすることはできるか。その場合には、その旨を伝えたいというでの発表のお願いをした方が良いと思うが。

(事務局) 開催前の準備の期間をより長く設け、そういったことも配慮しながら考えたい。周知が不足していた点や、開催時間帯なども考えていきたい。

(梅澤部会長) 自身も1時半から3時までしか出られなくて申し訳なく思っている。医師の3分の1くらいが土曜日午後に診療を行っているほか、休む先生も多く、参加が少ないこともあるかもしれない。

(廣瀬委員) オンデマンドについて、水上委員に賛成である。かなり時間をかけて資料を用意してくれていると思うので、1回で終わってしまうのは発表者としては寂しい。行政もMC Sを推奨しているので、MC S登録者はオンデマンドでみられるようなシステムができるとよいのではないかとと思う。毎回新しいテーマで新しいものを作るのは大変なので、名作を残していくことも大事だと思う。

(斉藤委員) 個人情報に関しては各所属機関の倫理委員会のようなものがあると思うので、個人情報に配慮した形で私自身も発表をしている。オンデマンド配信することについて事前に演者に言っていただければ、問題ないと思う。

#### 4 その他

前回の在宅医療・介護連携推進会議にて誤嚥性肺炎の連携についての啓蒙動画を紹介したが、音声トラブルがあったため、改めて紹介した。

(廣瀬委員) この事業は救急医療の安定化を目的としてスタートしたものではある

が、病院協会と医師会が協力して1つのものをアナウンスするのは素晴らしいことと思う。今後、少しずつでもこうした市内の医療全体について、病院協会や医師会など、皆さんで協力して伝えていく流れがますます進んでいくと良いと願っており、その一つのきっかけになればと思う。

(水上委員) コロナ渦で自宅療養患者の入院ができなかった経験も多く経験した。在宅医療も20年近く経験がある中で、病院協会から我々訪問診療のクリニックまで、一貫して市民の方の生活を支える動きは重要だと思う。

そうした中で本日の入退院支援の手引きを、やり方を決めるだけではなく、実際に患者の生活に立って具体的にまわせるような実務を伴ったものとして、市民の方が相模原に居て良かった、安心して住める場所だと思って貰えるように、今後のワーキンググループ等を通して作っていただければと思う。

## 5 閉 会

※原則、審議と関係のない発言、単純な言い間違いなどを除き、発言者及び発言内容を記載する。

(別紙)

令和7年度 相模原市在宅医療・介護連携推進会議  
第2回 連携体制等に関する部会 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	石川 和也	公益社団法人神奈川県看護協会相模原支部		欠席
2	伊藤 憲秀	地域包括支援センター		出席
3	内田 善久	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会		出席
4	梅澤 慎一	一般社団法人相模原市医師会	部会長	出席
5	菊地 歳光	相模原市ホームヘルパー協会		出席
6	小林 麻衣子	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団		出席
7	斉藤 正和	相模原市医療ソーシャルワーカーの会		出席
8	澤田 弘之	公益社団法人相模原市薬剤師会		出席
9	澤野 将文	相模原市介護老人保健施設協議会	職務代理	出席
10	下井 麻紀子	相模原市訪問看護ステーション管理者会		出席
11	杉谷 雅人	相模原市認知症疾患医療センター（連携型）		出席
12	田中 雄一郎	公益社団法人相模原市歯科医師会		出席
13	土田 陽子	さがみはら介護支援専門員の会		欠席
14	日高 明夫	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会		欠席
15	廣瀬 憲一	公益社団法人相模原市病院協会		出席
16	松岡 義人	相模原市小規模多機能型居宅介護事業者連絡会		出席
17	水上 潤哉	一般社団法人相模原市医師会		出席
18	荒川 雅子	一般社団法人相模原市医師会（訪問看護ステーション）		出席